学校番号	３０１３

令和３年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理Ａ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高等学校新地理Ａ（帝国書院）　詳解現代地図（二宮書店）						
副教材等	新編地理資料 2021（とうほう） 新編地理資料 2021 準拠　白地図作業帳（とうほう）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・地理という、空間軸を獲得する。
・現在の世界を、人間側からの論理だけでなく、自然環境の存在を大切に考えて、理解する。
・世界の国々や諸民族の状況を踏まえ、現在の日本の状況も理解する。
・地理的技能習得に欠かせない、地図、統計資料、地形図、写真等を読み取れるようになる。

２　学習の到達目標

・現代世界の地理的事象を系統地理的、地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養う。
・国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現在の世界の現状に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求するとともに、国際社会に主体的に生き、よりよき国際社会の形成者として寄与していく日本国民としての責務を果たそうとする。	現代世界の諸課題を地理的観点から考察し、世界の変化を踏まえ公正に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	現代の世界の地理に関する諸資料やデータを収集し、必要な情報を選択し、読み取る。様々な地図を読み取理、考察する。必要なデータを地図を作成して表現する。	世界の現状についての基本的な事柄を、地理的条件と関係づけながら理解し、その知識を身につけている。
評価方法	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	地球と地域構成	・地上の現象と地球上の位置 ・経度の違いと時差 ・球面と平面の世界	○	○	 ○ ○	 ○ ○	a：地上の現象と地球上の位置、経度の違いと時差の仕組み、球面と平面で表される世界について関心と課題意識を高め、それを意識的に追究し、とらえようとしている。 b：地上の現象と地球上の位置、経度の違いと時差の仕組み、球面と平面で表される世界について、日常生活との関連を踏まえて、系統地理的に、多面的･多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c：地上の現象と地球上の位置、経度の違いと時差の仕組み、球面と平面で表される世界に関する地図や統計などの諸資料を適切に収集し、その資料を基に、図表などにまとめたりしている。 d：地上の現象と地球上の位置、経度の違いと時差の仕組み、球面と平面で表される世界について、基本的な概念を習得するとともに、それらに関する知識を身につけている。	a,b,c,d: ワークシート 定期考査

	国家の結びつきと行動圏の拡大	・国家の領域と国境 ・日本の領域と領土問題	○		○	○	a：国家の領域と国境、日本の領域と領土問題について関心と課題意識を高め、それを意識的に追究し、とらえようとしている。 b: 国家の領域と国境、日本の領域と領土問題についての課題を見いだし、それを地域性や歴史的背景、日常生活との関連を踏まえて、系統地理的に、多面的･多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 国家の領域と国境、日本の領域と領土問題について関する地図や統計などの諸資料を適切に収集し、その資料を基に、図表などにまとめたりしている。 d: 国家の領域と国境、日本の領域と領土問題について、基本的な概念を習得するとともに、それらに関する知識を身につけている。	a,b,c,d: ワークシート 定期考査
	身近な地域の課題	・身近な地図とその特徴 ・身近な地域の課題と地域調査	○		○	○	a：身の回りにある様々な地図とその特色、身近な地域について関心と課題意識を高め、それを意識的に追究し、とらえようとしている。 b: 身の回りにある様々な地図とその特色、身近な地域について、日常生活との関連を踏まえて、系統地理的に、多面的･多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 身の回りにある様々な地図とその特色、身近な地域について、地図や統計などの諸資料を適切に収集し、その資料を基に、それを読み取ったり、図表などにまとめたりしている。 d: 身の回りにある様々な地図とその特色、身近な地域についての調査について、基本的な概念を習得するとともにその追究の方法を理解し、それらに関する知識を身につけている。	a,b,c,d: ワークシート 定期考査

後期	人々の生活と文化	・生活と宗教・言語の関わり ・生活・文化のグローバル化	○	○	○	○	a：生活と宗教・言語、グローバル化に対する関心と課題意識を高め、それを意識的に追究し、とらえようとしている。 b: 世界の諸地域に見られる宗教と言語と人々の生活都の関わり、グローバル化に関しての課題について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 世界の宗教・言語、グローバル化に関する地図や統計などの諸資料を適切に収集し、その資料を基に、図表などにまとめたりしている。 d: 世界の宗教・言語、グローバル化について、基本的な概念を習得するとともに、それらに関する知識を身につけている。	a,b,c,d: ワークシート 定期考査
	気候と農業	・生活と気候のかかわり ・生活を支える世界の農業	○	○	○	○	a：世界の気候と農業について関心と課題意識を高め、それを意識的に追究し、とらえようとしている。 b: 世界の気候と農業について、日常生活との関連を踏まえて、系統地理的に、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 世界の気候と農業について、地図や統計などの諸資料を適切に収集し、その資料を基に、図表などにまとめたりしている。 d: 世界の気候と農業について、基本的な概念を習得するとともに、それらに関する知識を身につけている。	a,b,c,d: ワークシート 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。